

# 「NHKの衛星放送の保有チャンネル数の在り方に関する研究会」

## 第1回会合 議事要旨

### 1 日時

平成19年8月7日(火) 10:30~12:00

### 2 場所

総務省第3特別会議室(中央合同庁舎2号館9階)

### 3 出席者

#### (1) 研究会構成員(敬称略、五十音順)

石岡克俊、伊東晋、音好宏、岸博幸、見城美枝子、菅谷実、高橋伸子、田中輝彦、鳥居昭夫、飛田恵理子、山内弘隆、山本隆司(12名)

#### (2) 総務省側

鈴木総務審議官、小笠原情報通信政策局長、河内審議官、今林総務課長、吉田放送政策課長、奥放送技術課長、吉田地上放送課長、武田衛星放送課長、長塩放送政策課企画官、井幡放送政策課課長補佐

### 4 議事

#### (1) 開会

#### (2) 開催要綱(案)について

#### (3) 座長の決定及び座長代理の指名について

#### (4) 研究会の公開について

#### (5) 研究会の当面の進め方について

#### (6) 議題

NHKの衛星放送の現状について

#### (7) 閉会

### 5 議事の概要

#### (1) 開催要綱(案)について

事務局より研究会開催要綱(案)について説明が行なわれ、承認された。

#### (2) 座長の決定及び座長代理の指名について

- ① 構成員の互選により、菅谷実氏（慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授）が座長に決定された。
- ② 菅谷座長より、山内弘隆氏（一橋大学大学院商学研究科長・商学部長）が座長代理に指名された。

(3) 研究会の公開について

以下のとおり決定された。

- ① 会議の原則公開（当事者又は第三者の権利及び利益並びに公共の利益を害するおそれがある場合等を除く。）
- ② 会議で使用した資料の原則公開（同上）
- ③ 議事要旨の作成公開

※ 資料、議事要旨については、総務省のホームページに掲載

(4) 研究会の当面の進め方について

- ① 事務局より、今後の進め方について説明が行われ、年内の大まかなスケジュールについて決定された。
- ② NHKに対し、承認された開催要綱に基づき、次回以降、特段の支障がある場合を除き、出席を要請することとされた。

(5) 議題について

事務局より、NHKの衛星放送の現状等について資料に沿って説明された。質疑、意見交換における構成員からの主な発言は以下のとおり。

- 広告収入により行われているBS5社の収益206億円には、テレビショッピングの収益も含まれるのか。
- 地上アナログ放送の難視聴世帯の状況について、約2万8千世帯が不満足な受信状態とあるが、この世帯数は地上波のデジタル化に伴う新たな対策によって減少すると考えればよいか。あるいは、新たにデジタル化に伴う難視聴のエリアが生ずることも考えられるのか。
- 地上アナログ放送の不満足な受信状態である約7万世帯について、もう少し詳しいデータを用意してほしい。
- 地上デジタル放送開始後、NHKのデジタル放送でカバーされない地域について、衛星でカバーすることについて本年度中に検討す

ると情報通信審議会答申にあるが、これはどのような検討が行われるのか。

- 現在の地上アナログの難視聴地域の人たちは、衛星放送によりカバーされているとのことであるが、その場合の機器や受信料の負担はどのようになっているのか、教えていただきたい。
- NHKのコンテンツの2次利用について、衛星のコンテンツはどのように利用されているか。
- テレビジョン放送を取り巻く市場の概況としてインターネット、ラジオ等についても、資料を用意してほしい。
- 放送分野だけでなく、インターネットを含めたメディア全体のマクロ的な議論も必要ではないか。
- BS放送に関する電波の逼迫状況については、技術の進展や我が国に割り当てられているトランスポンダの数等を踏まえると、かなり緩和されてきているのではないか。
- NHKの収入に関して、チャンネル数を減らした場合どうなるか等のシミュレーションの数字について情報提供してほしい。

(6) 次回会合(第2回会合)は、別途調整されることとなった。